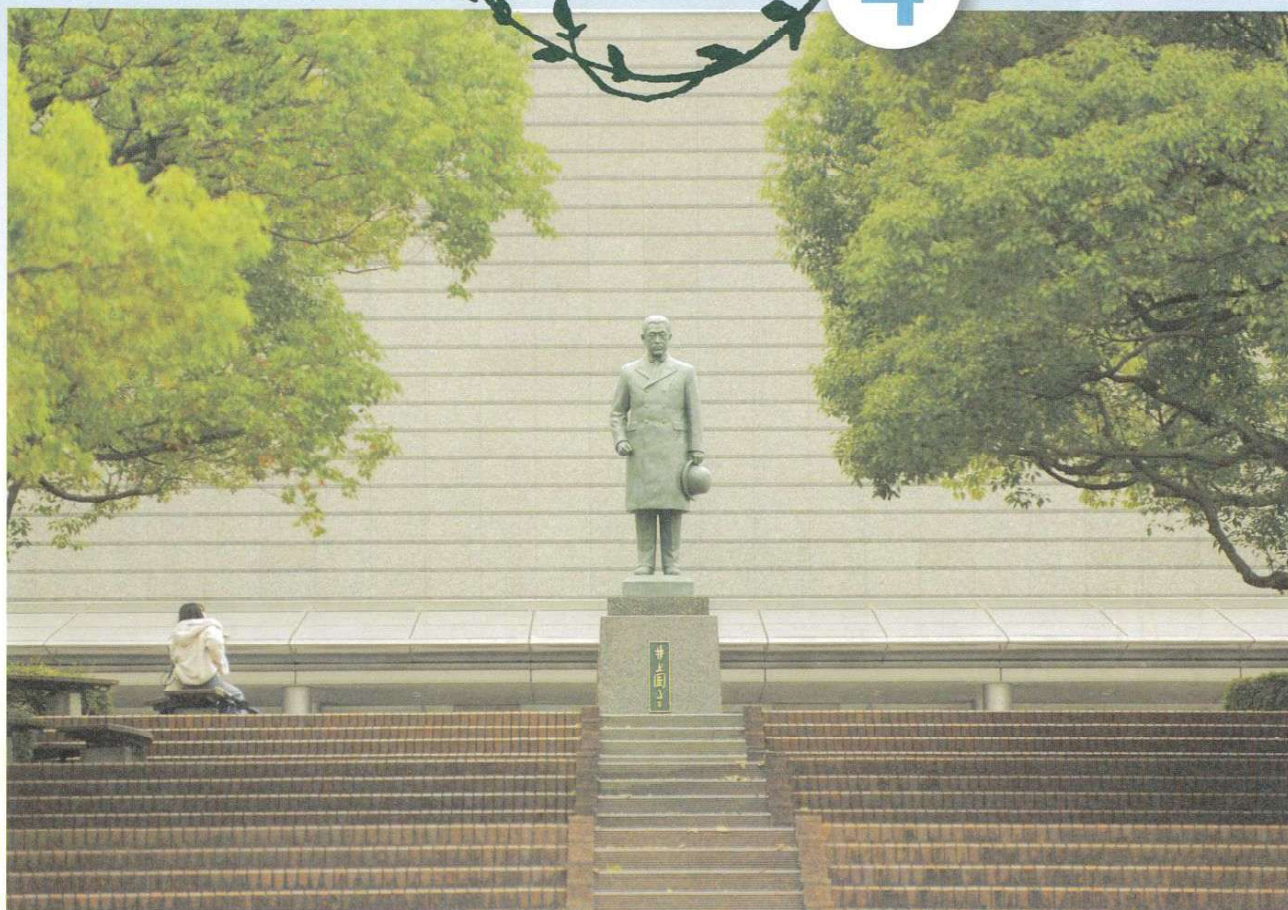


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



東洋大学白山キャンパス 井上圓了像(文京区)

西徳寺の予定

4月

- 3日(木) 午後2時 参道修復完工記念コンサート
9日(水) 午後2時半 評議員会役員会
12日(土) 午後5時半 同行会総会
法話: 蓮井 邦宗
16日(水) 午前11時 婦人会総会
19日(土) 午後2時 定例聞法会
20日(日) 午後2時半 評議員会総会
27日(日) 午後2時半 中央ブロック会総会・聞法会
場所: 西徳寺

5月

- 10日(土) 午後2時半 合唱団「エコー」10周年コンサート
11日(日) 午後2時半 城南ブロック会総会・聞法会
17日(土) 午後2時 定例聞法会
18日(日) 午後2時半 城西ブロック会総会・聞法会
21日(水) 午後1時半 婦人会聞法会
24日(土) 午後2時 総代会
午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話: 仲井 真裕

※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。



4月の山門の言葉



人は何よりも執着せんとするものが自己である

仏教思想家 毎田 周一

母は私に「なるようにしかならない」と事あるごとに言っていた。私が慰めや励ましを求めたとき、母はこの一言だけで済ませた。わかるようでわからない言葉だとも思う。最近、「お前は周りが見えていない。無意識に人を傷つけている」と友人に言われた。人一倍周りを気遣い、優しくしてきたのに、どこか自分で思っていたせいか、なかなか受け入れることができなかった。どうしてだろうと悩む中で、私の中に存在する、理想に捉われている自分に気が付いた。それは、幅広い交友関係において、それぞれと深く関わり、良い関係を築いていきたいという理想である。それが、友人の一言で否定された気がして、「あの人の思い込みでないか」と疑い、不安になった。

私は、「こうならないように」、「こうあるべきだ」と、常に自分の理想像を求めてきた。その理想像が否定されると、不安になり、良かれと思いついてきた相手への言動ばかりを持ち上げて、相手に原因を押しつけてしまう。そこで、私に問題があつたとは、なかなか思うことができない。そこに目を向けられないところに、執着という大きな問題があると、この言葉から知らされる。

思い通りにならない自分を受け入れることができない。仏教ではそれを、どこまでも自分に執着しているからだとも明らかにしている。ふと、母の言葉が浮かぶ。なるようにしかならないとわかつていても、うなずけない私の問題が見えてくる。思い通りにならない私が抱える執着は、無意識に人を傷つけることもあれば、関係性を壊すこともあるという現実を教えられた。

(大谷 隆記)

顧問のカレンダーに聞く

この私のちには
いつもお母さんのちが
通い続けている

仏教ではいのちを平仮名で書きます。漢字で書く命は生物学的な意味で、いのちは賜るいのちであります。

普段、いのちを私のいのちと決めつけていますが、始めから終わりまで私の自由にはなりません。自分の思うようにならないいのちであることを、先立つた人、または生活の中から教えられるのです。運が良いとか悪いとか、崇りが有るとか無いとか、勝手にいのちを解釈しておったことを、このカレンダーの言葉から気付かされます。

親鸞聖人はいのちを本願と明らかにされました。

私のいのちとは何か。この私に賜ったこのいのちの広く深い意義を尋ねていく歩みこそが、如来のいのちが通い続けている証なのです。



The life of the Tathagata is a part of my life always.

山道工事 完工

約2カ月をかけて施工いたしました、境内の参道工事が無事終了いたしましたので、ご報告いたします。

従来の御影石畳は雨天時に滑るということで、この度鉄筋を組み、コンクリート敷といたしました。また車の重量に堪えられるよう、厚みを増しました。

尚、本工事の費用は、皆様からご協力いただいております維持会費より拠出いたしました。

ご不便をおかけいたしました。皆様のご協力、ご理解に感謝いたします。

皆様のお参りをお待ちしております。

西徳寺住職 山崎 哲



雨や雪でも滑りにくくなりました

城北ブロック会

3月9日（日）、北区王子にある北とぴあにて聞法会を開催いたしました。近くにお住いの方が初めてご参加いただいた今回のテーマは、「水の河と火の河」。

担当からは「命を私有化している私たちが、生老病死という現実からお叱りの声を聞いていくのが念仏の教えであろう」と話し、大谷顧問からは、「教えは、この思うようにならない身体にある。この身体にかけられた願いを聞いていくんだ」と、法話をいただきました。

懇親会でも話が絶えず、皆さまと賑やかで楽しい時間を過ごしました。

次回は6月15日（日）、池袋西口にあるくいもの屋わんにて、総会・聞法会を開催する予定です。お気軽にご参加ください。（担当：仲井 真裕）



燈虹塾ハイブリッドセミナー

大河ドラマでも話題になっている蔦屋重三郎は、当時の様々なアーティストを手掛けただけでなく、自身もアーティストとして活躍されました。そのことについて理事である青木繁弘さんと、西徳寺職員でもあり事務局を務める深澤見弥君よりお話をいただき、蔦屋重三郎を通じて「吉原アートとは？」という問題提起をしていただきました。

また、深澤君においては喜多川歌麿作の「六玉川 松葉屋瀧やま」を模写し、作品を披露して皆さんに楽しんでいただきました。（高橋 淳 記）



セミナーの様子



喜多川歌麿の模写作品を披露してくれました

仏具磨き

冷たい雨の降る中、春の永代経法要に向けて仏具磨きをしました。季節外れの寒さに震えながらではありましたが、有志の方々にお手伝いをいただきましたおかげで、仏具が見違えるように綺麗になりました。お手伝いいただきました皆様、ありがとうございました。

(蓮井 邦宗 記)



ランドマーク

東洋大学
白山キャンパス

4月は入学シーズンということで、文京区にある東洋大学白山キャンパスに伺いました。

東洋大学は、明治20年(1887年)に哲学者である井上円了が創設した「私立哲学館」を前身とし、昭和3年(1928年)できた大学です。

前身の哲学館は、「余資なく優暇なき者に、哲学を学べる場を」という趣旨で、大学建学の精神は「諸学の基礎は哲学にあり」と掲げ、日本で唯一「哲学教育」を実践している大学です。

学生数は3万人を超え、学内にある食堂は広々としたフードコート形式で、多彩なメニューが楽しめ、「日本一美味しい学食」と評されるほどです。

ちなみに東洋大学は、大谷顧問の出身大学でもあります。





坊さんのツブヤITTERー

@イッチー



小さい頃から物を作ることが好きで、プラモデルやラジコン、自宅のテレビ台を作ったこともあった。

最近は作る時間もないので、ミニチュア模型を時々手に入れ眺めております。本当に時々です……

#模型 #ミニチュア模型 #DIY



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が恥を顕す～

テレビで事件を起こした人、街で見かけるとどこか様がおかしな人を見ると、「この人は変な人だな、何故こんなことをするんだろう」と思います。

しかし、私も着物でお参りに出かける時は、よく好奇の目を向けられます。また過去にした自分の行為を、「何故あんなことをしたんだろう」と恥ずかしくなることもあります。

もしかすると、変な行為や行動をする人は、本人の中では普通なのかもしれません。変なことだと思っても、何とか自分を肯定して、普通だと思い込むのではないのでしょうか。

「普通」を辞書で引くと、「あまねく一般に通ずること」とあります。普通という感覚は、世の流れが急変する昨今、特に分かりにくくなっていると感じます。「私も変な人の一人」、少しはそんな感覚があってもいいのかもしれないですね。

(編集長 仲井 真裕)



我が家の可愛いひな人形

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
 🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
 00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook